



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西岡 孝
 (氏名) 佐々木 悟
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	2,915	21.9	28	35.8	20	64.4	4	
2018年12月期第3四半期	2,391	32.5	44		56		33	

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 3百万円 (%) 2018年12月期第3四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	0.32	
2018年12月期第3四半期	2.89	2.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	3,280	2,830	74.7
2018年12月期	3,147	2,796	77.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 2,449百万円 2018年12月期 2,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,003	34.9	188		201		160		12.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	12,456,000 株	2018年12月期	12,418,500 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	200 株	2018年12月期	200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	12,437,661 株	2018年12月期3Q	11,673,401 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しております。しかし、海外経済の不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、2019年の年間供給が3.7万戸（前年比0.8%増）と予想されておりましたが、当第3四半期連結累計期間においては供給戸数が前年同期比16.3%減、契約率においても9月度は60%を切る等（いずれも民間調査機関調べ）非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高2,915百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益28百万円（同35.8%減）、経常利益20百万円（同64.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移しましたが、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力し、中古マンション市場及び代理店事業が結果を出し、売上・利益ともに順調に推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の経営成績は、売上高882百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益186百万円（同49.8%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、求人募集費や現場人件費の増額等はありませんでしたが、新規取引先の獲得や臨時的売上等があり、売上・利益ともに比較的順調に推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の経営成績は、売上高1,075百万円（同6.3%増）、営業利益45百万円（同66.4%増）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、売上はあったものの、想定していた利益は上げられず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における総合不動産事業の経営成績は、売上高956百万円（同65.0%増）、営業利益7百万円（同95.0%減）となりました。

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしましたが、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、第3四半期連結累計期間においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。そして、Ruden Singapore Pte. Ltd. の口座開設については孫会社の口座を利用することとしております。また、ICO時に調達した1,700Bitcoinについては、今のところ現金化しておりませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、相場と資金需要をみて、順次現金化していく予定です。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるその他の経営成績は、売上高0百万円（同96.0%減）、営業損失20百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が869百万円、仕掛販売用不動産が110百万円増加したことなどによる一方、販売用不動産が887百万円、短期貸付金が384百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は463百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円増加いたしました。これは主に長期貸付金が228百万円、その他が40百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は431百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは主に未払金が56百万円、その他が53百万円増加したことなどによる一方、未払法人税等が29百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は18百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が5百万円、その他が2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は449百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に資本金が7百万円、資本剰余金が7百万円、新株予約権が22百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.7%（前連結会計年度末は77.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2019年11月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,459	1,509,262
受取手形及び売掛金	274,188	345,425
商品及び製品	114,544	116,858
販売用不動産	1,348,889	461,281
仕掛販売用不動産	41,112	151,128
仕掛品	1,611	1,642
原材料及び貯蔵品	8,919	6,945
短期貸付金	396,557	12,500
未収入金	63,938	8,636
その他	72,421	203,385
貸倒引当金	△6,057	—
流動資産合計	2,955,586	2,817,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,015	134,015
減価償却累計額及び減損損失累計額	△77,389	△79,073
建物及び構築物 (純額)	56,625	54,942
機械装置及び運搬具	3,428	3,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,969	△3,038
機械装置及び運搬具 (純額)	459	390
工具、器具及び備品	7,068	7,276
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,552	△5,237
工具、器具及び備品 (純額)	2,515	2,039
土地	37,543	37,543
リース資産	3,700	7,236
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,638	△4,078
リース資産 (純額)	61	3,157
有形固定資産合計	97,205	98,072
無形固定資産		
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	10,403	10,403
投資その他の資産		
投資有価証券	2,930	3,182
出資金	581	681
長期貸付金	—	228,000
破産更生債権等	644,314	658,645
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	80,499	121,330
貸倒引当金	△714,372	△726,942
投資その他の資産合計	84,010	354,954
固定資産合計	191,620	463,431
資産合計	3,147,206	3,280,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,984	87,959
短期借入金	2,600	2,600
未払金	144,499	201,463
未払法人税等	41,527	11,669
預り金	40,936	42,382
賞与引当金	—	2,395
売上値引引当金	540	405
アフターコスト引当金	2,165	2,000
その他	27,288	80,397
流動負債合計	341,543	431,274
固定負債		
長期借入金	—	5,452
退職給付に係る負債	8,842	10,134
その他	51	2,637
固定負債合計	8,894	18,224
負債合計	350,437	449,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,625	2,196,466
資本剰余金	720,977	728,818
利益剰余金	△471,745	△475,783
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,437,566	2,449,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	403
その他の包括利益累計額合計	235	403
新株予約権	358,965	381,384
純資産合計	2,796,768	2,830,998
負債純資産合計	3,147,206	3,280,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,391,287	2,915,229
売上原価	1,555,402	2,144,757
売上総利益	835,884	770,472
販売費及び一般管理費	791,175	741,777
営業利益	44,708	28,694
営業外収益		
受取利息	11,504	2,558
受取配当金	58	231
その他	4,614	1,122
営業外収益合計	16,176	3,912
営業外費用		
支払利息	13	112
貸倒引当金繰入額	—	9,122
控除対象外消費税	3,373	2,720
その他	752	427
営業外費用合計	4,139	12,382
経常利益	56,746	20,223
特別損失		
固定資産除却損	619	—
特別損失合計	619	—
税金等調整前四半期純利益	56,127	20,223
法人税、住民税及び事業税	31,430	23,987
法人税等調整額	△9,004	274
法人税等合計	22,425	24,261
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,701	△4,037
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	33,701	△4,037

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,701	△4,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	167
その他の包括利益合計	△255	167
四半期包括利益	33,445	△3,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,445	△3,870
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	780,678	1,011,610	579,628	2,371,917	19,370	2,391,287	—	2,391,287
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	780,678	1,011,610	579,628	2,371,917	19,370	2,391,287	—	2,391,287
セグメント利益 又は損失(△)	124,373	27,577	146,332	298,283	△41,322	256,960	△212,251	44,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,251千円には、のれん償却額△7,625千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△204,625千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	882,555	1,075,710	956,182	2,914,448	780	2,915,229	—	2,915,229
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	882,555	1,075,710	956,182	2,914,448	780	2,915,229	—	2,915,229
セグメント利益 又は損失(△)	186,346	45,899	7,344	239,590	△20,878	218,711	△190,017	28,694

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△190,017千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△190,017千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。